

豊川小だより

11月号

ホームページ
QRコード



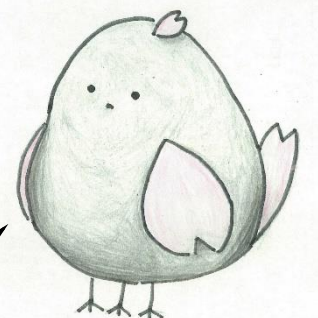
令和6年11月1日
北区立豊川小学校
校長 中村 順子

150周年まであと1年！

校長 中村 順子

先月の10月19日は、豊川小学校の開校記念日でした。学区にある紀州神社は、今年創建700年を迎えた由緒ある神社です。豊川小学校の起源はその観音堂に作られた寺子屋と言われています。そして今年度、創立149年を迎えました。いよいよ来年度は創立150周年、大きな節目の年になります。そのことを踏まえ、校内で、また地域の皆様と、150周年記念事業についての準備を始めています。

その一環として、児童の代表委員会が「150周年キャラクター」の募集をしました。すると全学年の児童から88点もの応募がありました。その中から代表委員会の児童が4点に絞り、全校児童による決選投票を行いました。投票の末に選ばれたのは、5年1組の齋藤 柚花 さんが描いた「さくラス」でした。齋藤さんは、デザインと名前の由来を、このように書いてくれました。



豊川小は、昔、紀州神社の近くに建てられました。紀州神社の社紋に『やたがらす』が描いてあるので、それを取り入れました。豊川小学校の校章が桜なので、桜の花びらも描きました。だから名前は、さくら+カラスで『さくラス』にしました。

さくラスです
よろしく！

全校児童の総意で選んだ「さくラス」は、今後様々なところで、豊川小学校の創立150周年事業を彩ってくれることでしょう。子供たちが、「さくラス」を通して豊川小の周年に思いを寄せ、また伝統ある豊川小にさらに誇りをもつことができるように、記念事業を進めてまいります。

*

7月下旬から始まったリノベーション工事ですが、その後順調に進んでおり、現在は仮設校舎の基礎部分ができあがってきました。11月からは、いよいよ建物としての形を見せ始めると聞いています。同時に行われている屋上運動場化工事も、11月末には竣工の予定です。現在、体育の授業は体育館のみの実施となり、今後音楽会のリハーサル等が始まると、さらに運動スペースは限られてきます。運動好きの子供たちにはがまんをさせてしまっていること、また児童の体力向上についての懸念など、心配なことが多くありますが、広い場所がなくても実施できる「コーディネーショントレーニング」などを活用し、今後も体も心も健やかな児童の育成に励んでまいります。

*

そのような環境下ではありますが、子供たちは11月29日・30日の音楽会に向けて、音楽の授業のほか休み時間なども使いながら、練習を重ねています。10月中には、合奏で担当する楽器を決めるためのオーディションが、各学年で行われていました。オーディションに向けた練習が功を奏し、希望の楽器を担当することができた子がいた一方、惜しくも希望が叶わなかった子も大勢いました。しかし、合奏で担当する楽器には優劣はありません。オーディションに向けて練習したことが大切ですし、それが叶わなくとも、決定した楽器の演奏のために気持ちを切り替えて奮闘している子供たちの姿も尊いと感じています。そのようなことにも思いを馳せながら、音楽会を鑑賞いただき、当日の児童に大きな拍手を頂戴できればありがたく存じます。

保護者、地域の皆様、リノベーション工事中で足下がよくない中でご迷惑をおかけ致しますが、どうぞご来校くださいますよう、お願い致します。